

寺田一博 議会報告

総括質疑で市長と一問一答！

1. 令和元年度決算の報告、今後の展望

寺田: これまでの改革を続けても10年以内に基金枯渇という答弁があったが、公債償還基金取崩し有りきの方針ではダメ。まずは市長が、基金取崩しなしでやっていくという方向性を示すべき。



市長: 極めて厳しい財政状況。この間、税収は増えたが、歳入を上回る歳出を続けてきた。公債償還基金の取崩しはあってはならないが、これを取り崩さないで来年度予算が編成できる状況でないことを説明すべきと思う。ただ、長期にわたってこのようなことは大変なことになるので原点に立ち返って改革に全力を尽くしたい。

寺田: コロナ前に京都市の支出を執行停止したらどのようになるのか、検討が必要と提言したが、そこまで至ってなかった。市長自身が具体的に検討すべきと考えるのがいかがか？

市長: 投資的経費から子育て支援も含め福祉等の消費的経費、これら聖域を設けず検討するよう指示している。そのうえで事業の効果や影響など、少し時間が掛かるが中期的に取り組む必要がある。抜本的な構造改革に全力を傾けたい。

寺田: 審議会で検討されるが、内容は市長が考えているより緩くなる。市長の方針は、実現不可能と思えるほど最も厳しいものであるべき。財政当局が無理というラインを市長が示すことが必要。

市長: できないくらいの目標を掲げてそこへ向かって挑戦することが一番大事。寺田議員のご指摘も含め、市民の皆さん、事業者の皆さん、様々な人々に御不自由を掛けるが、持続可能なものとなるために、覚悟して取り組むことを職員にも指示し、市民の皆さんにもご理解を求めてまいりたい。

2. 大型汎用コンピュータのオープン化事業の問題

寺田: 当初、議会でも私だけが厳しく質疑し、メディアもなかなか取り上げなかった。京都市として、明確な進捗管理ができなかったことが問題であり一番の反省点である。

市長: ご指摘の通り、専門性が高く、非常に複雑で多くの人が関わっている。だからこそ情報を共有して進捗管理をすることが私の使命だった。そのことについて私の責任。

国基準を上回って実施している主な事業 (単位: 億円)

事業名	実施に必要な一般財源(A)	国の基準額(交付税措置)(B)	国基準を上回る部分(C=A-B)
図書館運営費	16.5	14.2	2.3
地下鉄事業繰出金(公営企業繰出金)	31.7	19.9	11.8
下水道事業繰出金(公営企業繰出金)	219.1	133.8	85.3
就学援助費	12.9	7.7	5.2
京都市立芸術大学運営交付金	15.2	8.6	6.6
市立病院機構運営負担金・交付金	16.7	8.6	8.1
予防接種費	35.7	17.8	17.9
観光振興事業	11.5	5.3	6.2
文化振興事業	22.4	9.5	12.9
国民健康保険事業(財政支援分)	82.6	30.9	51.7
水道事業繰出金(公営企業繰出金)	5.8	1.9	3.9
スポーツ振興事業	7.5	1.6	5.9
伝統産業振興事業	2.5	0.3	2.2
バス事業繰出金(公営企業繰出金)	2.1	0.2	1.9
中央市場・食肉市場繰出金	11.4	0.7	10.7
被災者住宅再建等支援事業	4.0	-	4.0
障害福祉サービス・医療における自己負担の軽減(新京都市方式)	2.3	-	2.3
障害者医療費(重度心身障害者医療費支給事業)	11.5	-	11.5
老人医療費	1.6	-	1.6
福祉乗車証	13.3	-	13.3
敬老乗車証	52.4	-	52.4
保育所等運営費助成	40.9	-	40.9
市独自の保育料軽減	15.8	-	15.8
市独自の保育士加配	18.7	-	18.7
学童クラブ利用料の軽減	8.2	-	8.2
学童う歯対策	2.8	-	2.8
子ども医療費	10.9	-	10.9
ひとり親家庭等医療費	5.1	-	5.1
企業立地促進助成	4.9	-	4.9
京都市産業技術研究所	7.3	-	7.3
中学校3年生の30人学級実施	3.7	-	3.7

寺田: 全責任が市長にあると明言したことはリーダーとしてあるべき姿。霧の中で動いてきたように進捗管理ができていなかった。市長は損失が出せないと言うが、いち早く検証、分析して市民の皆さんに示すべき。

市長: やってきたことが、今後どこまでいかにさせるのか分かった時に損失額が出てくる。損失額を最大限減らしていくということと教訓にすることで取り組みたい。

オープン化とは

様々な業務を行っているシステムを、一般に広く利用されている最新技術によって刷新する事業。これにより、維持管理経費が大幅に抑制される。

大型汎用コンピュータのオープン化について(Facebookより)

平成25年度の予算化後、平成26年度から本格実施、平成29年1月に稼働が間に合わないとして委員会で報告があり、質疑しつつ調査すればするほどこの事業に疑問を持つようになりました。当初は私だけが、議会で厳しく追及していましたが、メディアも取り上げず…自民党の後輩議員も追及をはじめてくれましたが、議会全体ではそれほど問題視されていませんでした。最初の受託者と訴訟、第三者委員会設置、新たな受託者へ発注が行われ、都度遅延。さすがに、昨年末の遅延で議会全体に不安が広がるも、今年2月市会では予算化。議会が異例の警告を決議したにもかかわらず、現時点で完成の見通しがたたなかったため、断念となりました。

「寺田は言い過ぎだ、ちゃんと完成したじゃないか」と言われる日が来る方がどれほど楽だったか…

専門者会議(第三者委員会)で議論されたにもかかわらず、なぜこのような結果を招いたのか。しっかり検証する必要があります。

(令和2年9月30日)

入手しにくい医療関係物資なども 寄贈に尽力!

京都相国会からの防護服300着が最初に届けられ、堀川病院に150着寄贈。病院事務局からお礼のメールが。また台湾出身王先生(大津市)の所へ自ら車を運転して取りに行き、台湾弁事処(総領事館に相当)処長に驚かれました。

私が議長の時に交流協定を締結した、台南市からも防護服や医療用ゴーグルなどを送っていただきました。

京都華僑総会(魏会長)や台湾政府からも防護服やマスクを送っていただきました。

物資だけでなく「寄贈者の思い」も届けたいと奔走しました。



前回の京都寺友会通信(拡大版)の

ミニアンケート集計結果

1. 京都市が全国一と言われている「SDGs(エスディーゼズ)」という言葉を知っている



2. 今年5月に門川市長が2050年までに二酸化炭素排出実績ゼロを目指す表明をしたことを知っている



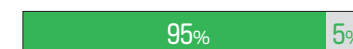
3. 小水力発電などの再生可能エネルギーをもっと増やすべきだと思う



4. ふるさと納税で京都市民が他都市に納税したことにより京都市のマイナスが40億円近くなったことを知っている



5. 市バスが同一運賃で乗り継ぎできれば、来たバスに乗れるので便利だと思う



市民の皆さんからのご意見 一部紹介

- ・ 普段市政を意識することがないのでこのハガキがくるとなんとなく楽しいです
- ・ 市電の復活をお願いします
- ・ SDGsってなんですか?*

※SDGsとは、持続可能な開発目標のこと「貧困をなくそう」など17の目標に向けて「誰も置き去りにしない」世界を目指します



新型コロナウイルス感染症対策について

京都市に対して具体的な政策の緊急提言!

実現した主な施策

- 4/9 感染症対応の電話がつながりにくい → 緊急回線を増設
- 4/10 原則窓口持参の申請を郵送でも受付可に。
- 4/23 中小企業など支援補助金を増額(当初5億円から10億円→25億円へ)
- 4/27 コロナ対応での住民票など手数料無料化(大阪市より1ヶ月早く実現)
- 5/1 医療従事者などへの支援体制強化に向けた寄付の受け皿設置 → 基金の創設
- 5/1 政令市初となる妊婦さんへのPCR検査無償化へ
- 5/10 コロナ対応へ行動指針の公表 → 7月には子どもの行動指針が策定

抗菌剤やマスクなど、学校現場や福祉施設への寄贈の橋渡しを数多く行いました。「できることは全てやる」との思いで今日まで新型コロナウイルス感染症対策最優先で取り組んでまいりました!

京都市会で議論されていることなどについてご存じですか?(○をつけて下さい)

- 京都市の財政調整基金(いわゆる預金)がゼロになっていた(令和元年度末) はい
いいえ
- 京都市衛生環境研究所が京都府保健環境研究所と合同で建設したので約10億円のコストカットを実現した はい
いいえ
- コロナ対応での住民票等手数料が無料になっている はい
いいえ
- 多くの台湾関係者から医療用物資等を寄贈いただいた はい
いいえ
- 京都市会はコロナ対策の為、委員会は1時間毎に換気をしている はい
いいえ

毎年 上京区の皆様にアンケートをさせていただき、その結果を「全て報告」しております。

◆ご意見・ご要望などお気軽にお書きください。

キリトリ線